

## われわれがどう見るかということが、老人に影響を与える



### 専門家が関係障害を作る

身体が先で人間関係は付け足し=足し算の考え方  
チューブをつっこまれて抑制=ゼロになる・ゼロにして掛け算してもゼロ

### 問題点を見つけるというのは一方的な関係

問題点というときこえがいいですが、悪口ばかり・その人の一面しか見ていない

問題点を挙げてそれを変えていこうというのは、老人をダメにする



## 食事・排泄・入浴での自己実現

食事  
排泄  
入浴

## 座ることを生活の中に生かしていく

具体的な生活の中に"座る"ことを生かしていく

あそこに行きたいを引き出していく

## 私たち自身がやってみる・イメージ化能力を高めること

嚥下する？ 食事介助される？ ウンチする？ 移動する？ 歩く？ 座る？ 立つ？

自分だったら・家族だったらを考えられる

## 生活=主体的で個別なもの

個別化=特別扱い

私たち自身がやってみる  
生理学に基づく事

相手を受身しているといいところは見えてこない

オムツ交換やお風呂をいかに効率的にやろうとすると相手の問題点しか見えてこない

## マイナスな見方をプラスな見方に変えよう

問題点をプラスに転化する

どういう関係のもとでこう言った

## 人を関係性の中で見る

個体と関係が同じ価値=掛け算  
人間=個体×関係  
関係がゼロになれば、人間は成立しない  
つまり、人間を関係の中の個体として見る



関係=家族の関係×社会的関係×自分自身との関係

一方的関係は  
受身・面一的

評価を共感的に关系的に関与者として記述  
関係的評価  
①客観的状況を記述(誰にでもわかる)  
②それを関わっている人がどう感じたか、どう思ったか  
③自分はどうしたいか

## 共に生きていこう

老人が生活の主体になるための媒介となること  
生への肯定感が相手に伝わり、それを共有すること

もう1回生きていく希望・意欲を持ってもらう関わり

人は、たった一人の人間との関係で変わることができる  
一人でもできる3つのこと

- 1.「おはよう」と声をかける
- 2.帰るとき握手をして別れる
- 3.問題を起こしたらすぐ行って自分の気持ちだけ伝える

自分に興味や関心をもってくれる人がいて、自分が何；問題を起こすとあの人が悲しむ。

自分をとうして関係を開いていく  
私がいなければダメだという状況にするのは介護ではない

## 関係を豊かにする

新しい人間関係をつくる  
周りから認められて、家族からちょっとやさしい言葉をかけただけ、もう1回自信を取り戻していく

## 相互的關係にする

老人のいい点を見つける

老人のいい点を見つけて、蓄めて笑顔を引き出す

そこからが付き合い、相互的な関係

ネガをポジに転化する

## プラスな見方を態度で見せる



ことばだけでなくケア全体を通して、自分が生きている肯定感を伝えられるか

元気になってほしい  
食べたら喜ぶ  
出たら喜ぶ

一緒に食べる